

特定非営利活動法人

国際社会人剣道九州クラブ会報



INTERNATIONAL GOODWILL KENDO CLUB

剣志

KEN SHI

2021年75号（令和3年6月）

発行者 九州地区クラブ

会長 加野 資典

幹事長 佐藤 博喜

ホームページアドレス <http://www.npo-igkc.or.jp> eメール nakamichi3303@outlook.jp

「新型コロナウイルス対策会議」にて令和3年5月7日に緊急事態宣言(4都府県)が5月31日まで延期、また愛知、福岡の2県を5月31日まで追加が決定された。よって国際社会人剣道九州地区クラブの5月例会は中止せざるを得ませんでした。その後5月末までの緊急事態宣言が6月20日まで再度延長となり、九州地区クラブの6月例会を6月26日に延期した次第です。(6月21日～7月11日まで蔓延防止等重点処置に移行)。九州地区クラブの従来の会場である「久留米アリーナ」はコロナワクチンの集団接種会場に充てられているため使用出来ず、今回は㈱ランテックの剣道場を使用させて頂きました。

今回も尾方正照先生を始め5名の八段の先生方のご参加を頂き、コロナ感染防止対策を万全にして例会(稽古会)を開催しました。

例会の前に加野会長より道場提供者である㈱ランテックへのお礼のご挨拶を頂き、続いて今回「熊本県剣道連盟会長」に就任された尾方正照先生に九州地区クラブよりお祝いの贈呈がありました。



会長挨拶



尾方先生挨拶

【稽古会】

日時 : 令和3年6月26日(土) 15:00～16:30

場所 : ㈱ランテック 剣道場 (道場は14:00から借りています)

久留米市宮ノ陣町若松 1-3 [TEL:0942-36-4125](tel:0942-36-4125)





【出席者：33名】 (順不同、敬称略)

加野 資典会長 尾方 正照先生 小島 良守先生 山田 雅士先生

井手 勝彦先生 井上 誠一先生 (当地区八段の先生5名)

佐藤 博喜 秋山 勝年 西田 耕陽 渡邊 寛二 大塚 勝也 日高 久光

下林 千代鬼 溝口 勝正 田中 義勝 永岡 義規 橋本 正照 森 雅敏

森迫多美子 小川 金吾 瀬戸 靖博 平 嘉和 豊田 末雄 大和 竹史

石丸 隆久 大隈 光夫 小川 邦昭 奥村 國弘 田中 昭彦 塚本 林功

中道 政生 吉田 純 (日高先生の後輩) 井上 姫花 (井上誠一先生のお嬢様)

【基本稽古】 山田先生ご指導

- ① 切り返し 2本
- ② 大きく面打 3本ずつ
- ③ 小さく面打 3本ずつ
- ④ 小手打 3本ずつ
- ⑤ 小手、面連続 2本ずつ
竹刀の点検
- ⑥ 会員同士の廻り稽古 (2分・3本)
10分の休憩後指導稽古



基本稽古の様子

《指導稽古》 八段の先生方





指導稽古の様子



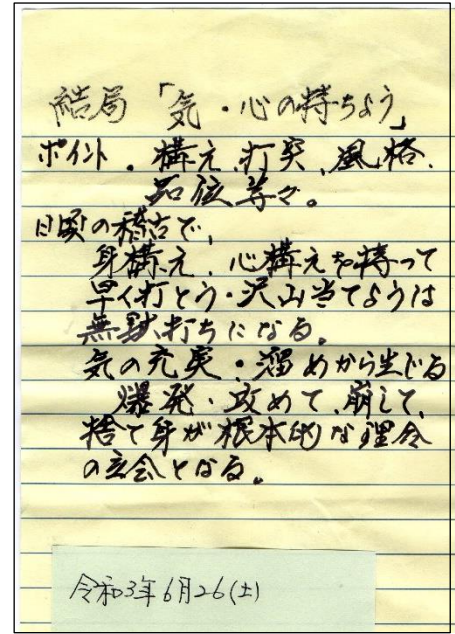
指導稽古後に尾方先生より講話をして頂きました。

①今日は何の稽古をするのか？自分の目標を指導者に伝える事。

元立ちの先生(八段の先生方)に「七段審査の為の稽古をお願いします。」「八段審査の為の稽古をお願いします。」具体的に目標を明確にすれば指導者はその適格な指導が可能である。

②「気、心の持ちよう。」

自分から攻めて相手の構えを崩し、相手が打って出ようとする瞬間に捨て身で打突する事。



尾方先生自筆

令和3年7月例会のご案内

稽古会

日時：令和3年7月24日(土) (稽古会 15:00~16:30)

場所：㈱ランテック 剣道場 (道場は14:00から借りています)

久留米市宮ノ陣町若松 1-3 [TEL:0942-36-4125](tel:0942-36-4125)

※上記稽古会は剣道場の都合で7月24日に変更になっています。お間違え無い様にお願いします。

《連絡事項》

※次回もマスク着用、検温(各自)をお願いします。体調不良の方は稽古会のご参加はご遠慮願います。

※令和3年度の年会費は5月末までに振込をお願いしていますが未だ未納の先生が数名おられます。至急振込をお願いします。振込用紙が無い時は事務局にご連絡下さい。宜しくお願い致します。

※今後、稽古会の日程、時間、場所等変更が有り得ます。その都度ご連絡致しますがご注意下さい。

また、会員の先生方も健康には十分ご注意下さい。

※稽古会には遠方より参加して頂いていますので、交通事故等十分ご注意して下さい。



※九州地区クラブの指導者である尾方正照先生(範士八段)がこの度、熊本県剣道連盟の会長に就任されました。会としましても大変喜ばしいことです。今後、尾方先生はご多忙になられると存じますがご健康には十分注意されます様お願い致します。

以下熊本剣道連盟のHPより抜粋させて頂いております。

熊本県剣道連盟



会長挨拶

熊本県剣道連盟会長

尾方正照

令和3年度役員改選により、会長を仰せつかりました尾方です。どうぞよろしくお願いたします。熊本地震から早や5年、昨年から新型コロナウイルス感染症、さらには令和2年7月の豪雨災害と大変な試練を乗り越えて剣道人は歯を食いしばって前に進んでおります。剣道人の素晴らしさを感じております。故泉勝壽前熊本県剣道連盟会長は昨年12月末に入院され、その後は一時退院、お元気なお声も聞けたのですが、再び入院され、1月28日に帰らぬ人となりました。謹んで哀悼の意を表したいと思えます。

故泉会長は5期10年にわたりお務めいただき、迅速な行動力・的確な対応力・強力なリーダーシップを発揮され、安定した活気あふれる連盟に育てていただきました。しかし、剣道連盟は今、大変困難な時期に直面しております。後を引き継ぐ者として、責任の重大さを痛感しております。

しかし、引き受けたからには能役者・世阿弥が『花鏡』で説いておりますように、3つの『初心忘るべからず』を心に刻み『是非とも初心忘るべからず』、『時々の初心忘るべからず』、『老後の初心忘るべからず』誠心誠意、会長の職を全うしたいと決意しております。

そこで、今後の活動目標としては、特に加盟団体と連携を密にしながら、5年、10年先を見据えながら、まず底辺の拡大に努めて参ります。令和元年の初段合格者は405名ですが、令和5年もこの人員がクリアできるように努力していきたいと思っております。次に競技力の向上を目指し、特に女子は新任の三嶋久美副会長を中心に一段の強化を図ります。3つ目、それは生涯剣道の推進で、さらに中・高年の剣士が復活できる手助けであります。40代や50代、仕事や転勤などの都合で中長期の中断を余儀なくされた方々や、また定年退職した方々への環境整備をいたします。

最後に、剣道連盟のホームページの活用であります。今年度から専門委員会の中に『広報委員会』として位置づけ、特にホームページの充実を図っていきたく考えております。熊本県剣道連盟ホームページ閲覧回数も年々多くなり、内容豊富で、楽しいホームページになるよう、努めて参ります。

日本の伝統文化に培われた、三道『剣道・居合道・杖道』の普及発展を図り、剣道の良さ、素晴らしさを伝えていきたいと思えます。

今後も皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今回、当九州地区クラブの会員の西田耕陽先生より
コロナ禍における剣道「師弟は共に修行する」と題した
原稿を頂きました。



原稿のまま掲載させて頂いております。

コロナ禍における剣道「師弟は共に修行する」

2021.6.21

熊本県荒尾市野原 西田耕陽（67歳）

1 はじめに

私の地元では、野原八幡宮があり、毎年秋の例大祭では「野原八幡宮風流」が奉納され770年傳承されています。この「風流踊」が今年3月ユネスコ無形文化遺産に提案されました。同3月に国指定重要無形民俗文化財に決定した事で、荒尾市は大いに盛り上がっています。野原八幡宮境内は剣道の手ほどきを受けた生きる原点でもあり、併せて野原区自治会役員として、この快挙に喜びもひとしおです。

2 中学校剣道部指導の実践 ～夢の実現を目指す剣道ノート～

中学校への剣道指導は今年で3年目を向かえ、新型コロナウイルス感染症対策のもと週3回程度指導しています。現在、中学総体の玉名荒尾大会が2年ぶり6月末に実施され準備を進めています。

常に剣道部の顧問と連携し、剣道経験者班と初心者班に分かれて指導しています。この剣道部は、中学校から剣道始める部員が半数居り初心者指導は重要です。昨年度の剣道部卒業生4人（初心者2人）は厳しい稽古に耐え、見事二段に全員合格しました。

剣道部保護者会では、剣道を科学的な視点で学ぶ事と剣道の有効打突はレベルが高く、3年間は忍耐強く稽古し、見守ってほしい事を伝えました。正しい剣道をするためには心が素直で真剣に稽古することが大切です。そして、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」等3つの学びが、現代教育の基本です。まさに剣道は昔からこの修行方法であり、この稽古法が底辺拡大につながり生涯剣道に発展していきます。

初心者には、正しい着装と併せて袴の襷、竹刀の節等五行の意義や、竹刀・木刀の名称、職人さんの思いを伝えます。また、剣道を学ぶには自分を励ます剣道ノートを紹介し、剣道ノートを自分と向き合っていくと修行が楽しくなると思います。私の剣道ノートを参考にして書き方を指導し、常に言語化する重要性を伝えます。

夢の実現を目指す剣道ノートは、指導者からの助言を記すことと同時に学んだことを点数化して、科学的、客観的、視覚的、俯瞰的等を考察していくと成長する過程がよく分かります。例えば、1日の稽古回数及び稽古本数を点数化します。1日2回稽古する場合は稽古回数は2点になります。また稽古本数を点数化すると次のようになります。

(稽古本数の点数化例)

日本剣道形1点、基本技稽古法1点、素振り1点、切り返し1点、打ち込み・懸かり稽古1点、約束稽古1点、地稽古1点×数、試合稽古1点×数、腹式呼吸1点、体育授業の身体運動1点、自主トレーニング1点、見取り稽古1点、剣道理論1点等
--

自分に適した方法で剣道を日常生活の中心に据えて点数化していきます。毎月の稽古総回数・稽古総本数、年間の稽古総回数・稽古総本数等を図示します。その過程は怪我・病気をすると稽古回数・稽古本数は減り、体調管理の大切さや1年間の見通しが分かり、自分なりの分析・考察ができるようになります。

必ず稽古の質・量・頻度を適切に行うと技能力の向上に現れ、夢の実現に向けて成果と課題が少しずつ明確になってきます。

3 おわりに

中学生の指導は、非常に神経を使います。自然災害・熱中症・新型コロナウイルス感染症・竹刀破損等の安全・健康面の指導、剣道初心者及び道場から指導を受けた経験者等への指導、人間関係のトラブル指導、稽古を休む生徒への指導、保護者への啓発等があります。多感で成長著しい中学生剣道の手ほどきを、「師弟は共に修行する」という信念で歩ませて頂いています。拙文をお読み頂きありがとうございました。今後も御指導方、よろしくお願い申し上げます。